

「令和7年度 市民トーク」開催結果（川崎地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月3日（木） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 榛原文化センター 大会議室
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 97人

2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布・当日の会場での質問あり

4 当日の様子



令和7年度 市民トーク（川崎地区）質問・要望一覧

日時：令和7年7月3日（木）

19時～20時30分

場所：榛原文化センター

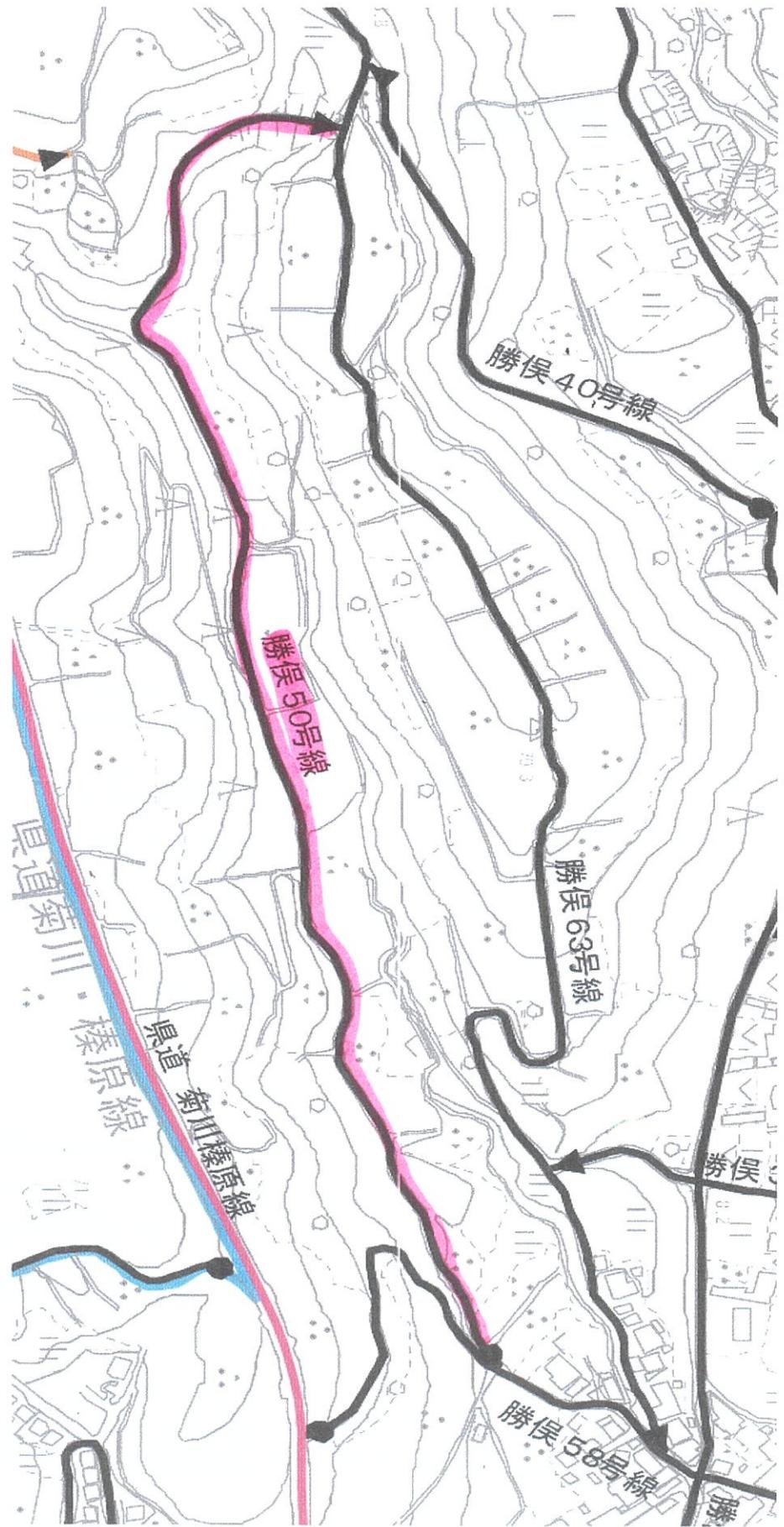
番号	事項名	担当課
1	市内一斉清掃について	建設課
2	荒廃茶農地の対策について	農林水産課
3	中学校の生徒数減少に伴う部活動のあり方と問題について	学校教育課
4	道の駅「そらっと牧之原」の活用について	お茶特産課 建設課
5	東光寺長藤の藤棚安全対策と維持管理業の市によるサポートについて	観光課 大河ドラマ活用推進室 公園公共建築課
6	牧之原消防署管轄出張所の新設計画について	危機管理課

令和 7 年度 市民トーク

川崎地区 (7/3 開催)

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	1 市内一斉清掃について
内 容	<p>例年実施している市内の一斉清掃について質問します。</p> <p>藤沢町内会では、市道勝俣 50 号線の草刈りや土砂の片付けを、自宅周辺の側溝の掃除や草刈りを終えてから実施しています。特に住宅地を過ぎた 1.2 km にわたる道路と途中からの坂道で、非常に作業が困難です。重機等をフルに活用して多くの人数で対応しても、全体作業が 12 時を過ぎる年度もあり、使用重機の清掃等で係は午後 1 時頃まで片付けがかかります。</p> <p>市道勝俣 50 号線の管理を市でやっていただければ、相当作業の軽減につながります。町内会の高齢化や、気候が 5 月末で高温多湿であることから熱中症等も心配されるため、町内会で実施する作業内容が少なくとも片付けを含めて 12 時前に終了できる程度の作業内容になるよう軽減をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【担当：建設課】</p>
回 答	<p>道路愛護運動については、その地域にお住まいの皆様が実施する、除草、枝木の伐採、路面清掃や側溝清掃などの実施による美化活動です。市が管理する道路や河川の延長も長いことから、地域の協力を得ながら管理しているのが実情であります。</p> <p>藤沢町内会におかれましては、市道勝俣 50 号線について、延長も長く、枝木の伐採や路面清掃等の重機を使用しての大掛かりな作業を行っていただいております。大変感謝をしております。そのような中で、地区に負担が掛かっている実情も理解いたしました。</p> <p>今後も作業を継続していただけるよう、実施内容を確認させていただき、地域で行うことと市で行うことの作業内容について、町内会と協議をしていきたいと考えております。</p>



令和7年度 市民トーク
川崎地区（7/3開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	2 荒廃茶農地の対策について
内 容	<p>後継者不足や茶農家減少等により市内の茶畑は、栽培を取りやめ荒れていく状況が近年目覚ましい。特に傾斜地においては、その傾向が顕著で、荒れた茶園の道路は、道にまで茶の木や草等が広がり車両通行の弊害にもなっている。今後、このような耕作放置の扱いをどう考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【担当：農林水産課】</p>
回 答	<p>荒廃農地につきましては、「荒廃農地再生・集積促進事業補助金」や「複合経営推進事業費補助金」等により、これまでに農業関係団体や認定農業者等と茶園の再生、レモンなどの柑橘類、白ネギ、葉物野菜、イチジクなど、約39haの転作を行っております。</p> <p>また、耕作しきれない傾斜地農地や隣接する山林と一体化しているような荒廃農地につきましては、農地の条件・状況などにより、非農地化にも取り組んでおります。</p> <p>このほかにも、耕作されなくなった農地を農地銀行に登録することによって、新たな担い手に借り受けてもらうことにより、荒廃農地防止を図っております。</p> <p>農地は、個人の財産であることから、土地所有者に適正な管理をお願いしております。ご自身で草刈り等が実施できない場合には、シルバー人材センターや土木事業者へ直接委託してもらうなどの方法をご案内させていただいております。</p> <p>また、車両の通行に支障が生じる場合には、道路管理者から所有者に連絡のうえ、その状況に応じて、民法233条に基づき、道路管理者が通行に支障が生じている草木の除草を行っております。</p>

令和 7 年度 市民トーク
川崎地区 (7/3 開催)
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	<p>3 中学校の生徒数減少に伴う部活動のあり方と問題について</p>
内 容	<p>牧之原市も人口減少に歯止めがかからず、特に学校現場では、児童生徒の減少に伴い部活動の部員の減少が著しく、学校現場も部活動の再編成が加速されないまま現状を維持する傾向にあり、単一学校のみでは、チームも編成できず、合同チームで大会や練習をしている中学生がいる。また、学校の部活動に所属せず、社会体育のクラブチームで活動をする生徒も今は学校全体の約半数になろうとする現状も起きている。</p> <p>そんな中、中学校の部活動のあり方と今後の部活動の種目数の精選について、学校現場に任せるだけではなく、行政としてどのような対策を考えているのか。今後の部活動の方向性、社会体育との関係性とでどう生徒を育てていくのか。</p> <p style="text-align: right;">【担当：学校教育課】</p>
回 答	<p>現在、牧之原市の部活動における基本方針は、『一律に部活動を学校からなくす“地域移行”ではなく、まずは休日の部活動指導を「希望する教員」と「地域の指導者」で指導する“地域連携”を進め、部活動を持続可能なものとする。』としています。</p> <p>この背景には、スポーツ庁と文化庁が令和 4 年 12 月に定めた「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」において、特に「地域移行」に関して具体的な目標が設定されているためです。この目標の概要を説明します。</p> <p>まず令和 5 年度から令和 7 年度までの 3 年間で「改革推進期間」と位置付け、この期間に休日の部活動の地域連携や地域クラブ化への移行を重点的に推進する、としています。この期間内で各都道府県及び市区町村は、休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移</p>

行を進めることが求められています。

このガイドラインは、教員の働き方改革、少子化や生徒の多様なニーズへの対応、そして地域における持続可能なスポーツ・文化芸術活動の機会確保を目的としています。

この実現に向けて、市内中学校では、生徒の部活動への加入について「希望加入制」とし、地域クラブ等へ所属しやすい環境をつくりました。また、部活動に現役で所属している生徒から活動の場を奪わないよう、部活動を即廃止して地域移行をするのではなく、合同部活動化や部活動指導員・外部指導者として地域人材を配置するなど、希望する教員がいない競技においても、「地域連携」という形で、生徒のこれまでの活動形態をなるべく残す形を目指しています。令和7年度現在、市内3中学校で部活動指導員として5名、外部指導者として10名が配置されています。

「改革推進期間」を終え、令和8年度からは「休日における部活動は原則、全ての部活動において地域展開を実現」とされていて、この「地域展開」には、本市が目指している「地域連携」も含まれます。

本市の今後の部活動の方向性については、

- ①希望する教員及び部活動指導員が学校部活動として実施する。
- ②地域クラブへの加入や保護者等が主催する練習会に代える。
- ③土日は活動をしない

のうち、どれに分類されるかを明確にした上で、部活動は存続させる予定です。なるべく①を可能にするために、社会体育と情報交換等を通して、地域人材の中に、部活動指導員や外部指導者を希望する方が何名程度いるのか実態を把握したいと考えています。また、中学生の指導ですので、専門知識や技術指導だけでなく、青少年の指導者としての適性も求められるため、人選方法などもまとめる必要があります。現在配置されている地域人材は、元教員や先生方の推薦を受けた方で、校長が認めた人物、という条件のもと配置しています。それと併せて青少年の指導者としての研修会の計画をしてまいります。また、指導者にふさわしいと思われる人に、協力の要請をするなどの対策を考えています。

令和7年度 市民トーク
川崎地区（7/3開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件名	4道の駅「そらっと牧之原」の活用について
内容	<p>① 7月18日にオープンする道の駅「そらっと牧之原」について、地域産業と密着し今後多いに活用され、多くのお客さんが来場することが期待されている。しかし、全国の道の駅は、その内容に特色がないとなかなか集客していかないのが現状である。今後、集客対策としてどのような対策を考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【担当：お茶特産課】</p> <p>② また、吉田町のはばたき橋から通じる道路がリサイクルセンターで工事がいまだ進まず、リサイクルセンター横の狭い道路を抜けて、坂部の広域農道（小糸製作所横）に出てくる車両が多く、事故も多い。道の駅の開業に伴い併せて、アクセス道路の完成を急ぐ考えはないか。また、道路の完成めどはいつを考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【担当：建設課】</p>
回答	<p>① 道の駅の集客対策としましては、指定管理者に「伊豆村の駅」や「道の駅なんぶ」など、全国14ヶ所の道の駅を運営し、地域密着型の事業展開により多くの実績を有するTTCグループを指定し、地場産品の直売はもちろん、お茶、レモン、シラスなどを中心に飲食物についても商品開発を行っており、オリジナルブランドを創出することで、目的地として道の駅を訪れて頂けるような魅力ある施設を目指してまいります。</p> <p>また、市内の生産者や物販事業者など100者を超える方々と契約を締結している他、道の駅の運営に従事する従業員も半数</p>

以上を地元から採用するなど、雇用の創出の一翼を担っております。具体的な集客に対する取り組みはこうした魅力の発信に加え、全国の主要都市圏からのバスツアーや空港をはじめとした市内観光スポットなどを巡るツアー企画を検討中のほか、富士山静岡空港と連携し、相互の商品連携や空港利用者におけるインセンティブの付与、外国人観光客に対応するための多言語対策の実施など、集客に向けて多岐に渡る検討を進めております。

② ご質問については、はばたき橋から島田市側を通り、J Aハイナン坂部柑橘選果場の交差点に接続するよう整備を進めている県道吉田大東線となりますので県に状況を確認しました。本年度については、市道付替工、工事用道路整備、本線樹木伐採工などの整備を実施し、今後については本線盛土工事、本線道路の地盤改良を進め、2020年代後半の完成を目指し整備を進めるとの回答でした。

なお、島田市側から市境の市道坂部1号線交差点までの区間については、令和7年度中の開通を予定しているとのことです。市としましては、早期完成を県に要望するとともに、事業への協力を継続して行ってまいります。

令和 7 年度 市民トーク
川崎地区 (7/3 開催)
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	<p>5 東光寺長藤の藤棚安全対策と維持管理業務の市によるサポートについて</p>
内 容	<p>県内有数の藤の名所として知られている「東光寺長藤」は、日常的に近隣住民が集う憩いの場となっており、藤まつりの開催期間中には市内外から多くの人を訪れる観光スポットであります。</p> <p>しかしながら、平成 2 年に築造された藤棚は、経年による劣化が著しく、モルタルの剥落も確認されており、地震などの有事の際には人的被害も危惧されることから、早急に安全対策を講じていただくよう要望するものであります。</p> <p>次に維持管理についてですが、先頃開催された第 31 回全国花のまちづくり牧之原大会の中では、花を育てていくためには、地域住民の協力と長期的スパンでの行政、企業のバックアップが必要であるとの識者からの発言がありました。</p> <p>「東光寺長藤」においても、会員の高齢化が進む長藤保存会を中心に町内壮年会の協力を得ながら鋭意、維持管理に務めておりますが、市の観光資源、指定文化財として長期に維持していくためには、前出の発言内容のとおり市のサポートが必要不可欠であることから、下記について切に要望いたします。</p> <p>①長藤保存会が行う年間維持管理業務の中での市による一部サポート（剪定業務や勝間田川の桜並木害虫防除薬剤配布時に合わせた同時施行など）</p> <p>②専門家の派遣による保存会への指導、助言</p> <p>③肥料などの現物支給の充実と資材等購入費の増額</p> <p style="text-align: center;">【担当：観光課・大河ドラマ活用推進室・公園公共建築課】</p>

回 答

1 藤棚の安全対策について

東光寺の長藤は、昭和 60 年 5 月 1 日に「牧之原市指定天然記念物」として文化財に登録されており、管理者は長藤保存会となっております。

約 110 年前の大正 4 年に、磐田市の行興寺の「熊野の長藤」を根分けしたもので、根回り約 3.46m、高さ約 3 mになります。

現状、藤棚全体において長藤保存会に実施していただいた針金及びコーキングによるモルタル剥離防止のための応急的な安全対策がされている状態であるため、日本技術士会へ、藤棚の劣化状況の調査を依頼し、修繕方法や施工方法の検証を行い、今後の対応を考えてまいります。

2 維持管理について

① 剪定や防除については、引き続き保存会における対応をお願いしたいところですが、今後は市としても維持管理に協力してまいります。害虫防除薬剤の散布については、勝間田川の桜並木の害虫防除散布時に同時施工できることもありますので、今後、保存会と協議をさせていただきたいと思えます。

東光寺の長藤は、「牧之原市指定天然記念物」として文化財に登録されているため、「牧之原市文化財保護条例」及び「牧之原市文化財保護事業費補助金交付要綱」に基づき、所有者又は管理者が行う保存に係る事業に対して、当該経費の 3 分の 2 以内（限度額 200 万円）で補助金を交付することができます。

② 専門家の派遣は可能です。

必要に応じて、樹木医等の派遣を行い、長藤保存会への指導や助言を市としても共有してまいります。

③ 長藤保存会からの依頼により、肥料購や消耗品など必要な物を購入させていただいています。

維持管理につきましては、長藤保存会や地元引き続きお願いし、市として現物支給を行うなど協力してまいります。

令和7年度 市民トーク
川崎地区 (7/3 開催)
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	6 牧之原消防署管轄出張所の新設計画について
内 容	<p>題記出張所が牧之原市細江地域に新設されるとの話が漏れ聞こえてくるが、その詳細内容について、以下の質問にお答えいただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新設の目的 2. 施設の場所 3. 施設の概要（建物、機材の内容と数量 要員数 その他） 4. 予算（土地 建物 資機材費 人件費 その他） 5. 新設による地域のメリットとデメリット <p style="text-align: right;">【担当：危機管理課】</p>
回 答	<p><u>1 新設の目的</u></p> <p>平成28年4月から、消防救急業務の市民サービス向上のため、静岡地域消防救急業務広域化が始まりました。</p> <p>当時から、榛原地区が消防の空白地区となっているという課題がありましたので、広域化から10年を経過する令和8年にむけて広域消防計画の見直し協議を行ってきました。</p> <p>結論としまして、令和8年4月以降も広域消防を継続することとし、見直し協議の中で、指揮命令権の明確化と消防力適正配置の課題の整理がありました。</p> <p>現在牧之原市と吉田町の全域で発生した事案の現場指揮は、吉田消防署の指揮隊1隊で対応しておりましたが、牧之原消防署にも指揮隊1隊を配置することとし、牧之原市の細江周辺に牧之原消防署榛原出張所を新設し、吉田消防署は吉田町を原則管轄区域とし、より消防力の強化できる場所に移設することが決定いたしました。</p> <p>令和8年4月からは、牧之原消防署・地頭方出張所・榛原出張所が牧之原市を管轄し、吉田消防署が吉田町を管轄することになります。</p> <p>しかしながら、静岡市消防広域化は継続となりますので、管轄区域はあくまで各消防署の管轄区域となりますが、静岡市消防局エリア内の災害現場に最も近い消防隊・救急隊が駆けつけることには変わりはありません。</p> <p>令和6年10月9日 行政連絡会において榛原地区に整備方針報告</p>

令和6年12月9日・10日 細江・谷の口町内会、後原町内会説明
令和6年12月10日 行政連絡会において細江地区に整備決定報告
令和6年12月17日 細江区・区長、町内会会長会議説明
令和7年6月20日 区長、区長代理研修会において説明

2 施設の場所

牧之原市細江 4405 番 1 (旧島田掛川信用金庫細江支店)

※選定条件 適正配置計画に基づき、津波浸水区域外、二車線歩道付き道路沿い

3 施設の概要

- ・建物 鉄骨造陸屋根平屋建 面積：541.49 m² (163.84 坪)
- ・機材の内容と数量 水槽付ポンプ自動車 1 台・救急車 1 台
- ・要員数 10 名 (常時 4 名対応) 今後最大 12 名 (常時 5 名対応)

4 予算

- ・土地購入費 68,310,000 円
- ・建物購入費 111,690,000 円
- ・設計費・管理費 8,250,000 円
- ・建物改修費 145,200,000 円
- ・車両、資機材費 吉田消防署より引継ぎ
- ・人件費 市町負担金に含む (基準財政需要額)

5 新設による地域のメリットとデメリット

- ・メリット

牧之原消防署と吉田消防署の役割についてはこれまで通りで、新規に榛原出張所配置されることから、消防空白地区である榛原地区の、消防力の強化がはかれる。

榛原地区に新設されることから、救急隊等の到着時間が現在よりも早くなる。

- ・デメリット

出張所新設の費用負担が生じる。(土地・建物購入費・改修費)

出動件数

令和6年 火災出動 11 件 (広域全体 56 件)

令和6年 救急出動 2,010 件 (広域全体 49,311 件)